

# AIDS UPDATE

No.54 2005.5.12

広島大学病院  
エイズ医療対策室

内線5581（輸血部長室）

Internet: www.aids-chushi.or.jp

## HIV/AIDS Case Study —初級・中級・上級編—

エイズ予防財団の普及啓発事業により、厚生省研究班の岡班の発表という形をとった「講演会」が開催されます。内容は医療現場での実践的なものです。会場は120人規模の階段教室です。みなさまお誘い合わせの上、ぜひおいで下さい。

### 【HIV/AIDS Case Study - 初級・中級・上級編 -】

日時：平成17年6月4日（土）14：00～17：00

場所：広島大学医学部第4講義室

対象：医療従事者・医療系学生・大学院生

参加費：無料

#### <内容>

ACCから

- ・初診時の対応（医師編）
- ・初診時の対応（コーディネーターナース編）
- ・スタッフ教育の実際 - 針刺し事故防止対策 -
- ・Photo Quizzes - HIV患者にみられた合併症 -

開催地から

- ・困った症例（開催地医師、看護師等）

総合討論

主催：（財）エイズ予防財団厚生労働科学研究費（エイズ対策研究推進事業）研究成果等普及啓発事業「免疫賦活を応用したHIV感染症の治療法に関する研究班」主任研究者 岡 慎一（ACC）

協力：広島大学病院 エイズ医療対策室



## <シリーズ> ナース河部のざっくばらん(No.10)

皆様こんにちは。あっという間に桜の花も散ってしまい、春を通り越して初夏を思わせるような日々が続いております。ゴールデンウィークはゆっくりとお過ごしになられましたでしょうか？



今回のアップデートでは、セクシャリティーについてお話ししたいと思います。セクシャリティーという言葉の皆様はお聞きになったことがあるでしょうか？横文字の苦手な私ですが、今の仕事に就くまではその本当の意味を理解できていなかったように思います。

簡単に説明しますと、セクシャリティーとは個人の性に関する事柄を広く表した言葉で、その中には、セックス(身体的性別)、ジェンダーアイデンティティー（性自認：自分のことを男性と思うか、女性と思うか）、ジェンダーロール（性役割：社会的、文化的に学習していく男らしさ・女らしさを表す概念）、セクシャルオリエンテーション（性的指向：性意識が異性に向かうもの＝異性愛、同性に向かうもの＝同性愛、両性に向かうもの＝両性愛）などがあります。性同一性障害などは、ジェンダーアイデンティティー(性自認)とセックス(身体的性)が一致しないためにおきると言われています。

2年前、HIVサンフランシスコ研修に参加した時、感染者でトランスジェンダー（MtoF：体は男性で、性自認・性役割は女性）の方の話を聞く機会がありました。その方は、子供の頃より自分の体に違和感を覚えて成長し、親との不和や心の淋しさから家出 麻薬 HIV感染という経過をたどってこられました。病気と闘いながら、数年前に性転換手術をされ、その時に本当の意味での精神・身体両方の開放を感じ、心からの幸せを感じたと話されました。

私自身、この体験をご本人から聞かせていただいたのですが、セクシャリティーがこれほどまで人間にとって大きな意味を持つものなのだと知り、ある意味大きなショックを受けました。それと同時にセクシャリティーはとても尊い自由なものだと感じました。異性愛者が多数派と言われる世の中で、同性愛者がいかに差別されてきたのか、また環境や周りの人の影響で今も尚、生きにくい現実と向き合っているのか、その背景をもっと知っていかなければいけないと思いました。

HIV感染症は性感染症です。患者さんの中には異性愛者・同性愛者・両性愛者などセクシャリティーは皆さまさまざまです。患者さんの心理・社会的背景を考慮しつつ、看護支援を行っていけるように、私自身も日々理解を深めてきたいと思っています。

【KAWABE】



## 第7回 アジア・太平洋地域エイズ国際会議

これまでアップデートの記事として何度か紹介してきましたが、アジア・太平洋地域エイズ国際会議（ICAAP）が、7月に神戸で開催されます。今回のメインテーマは「科学とコミュニティの英知の統合」です。

■ 前回のメルボルンでの開催から日本に場所を移し、2005年7月1日（金）～5日（火）の5日間、会場は、神戸国際会議場、神戸国際展示場、ポートピアホテルです。

■ HIV感染症の治療をとりまく状況は、抗HIV薬の開発により、めまぐるしく変化しました。薬の服用を続けることでAIDSの発症を遅らせ、以前と変わらない生活を送ることができます。しかし一方で、薬の副作用や、セクシャリティー、心理的・経済的問題など、感染者の抱える問題は複雑で、多領域にわたった支援が求められます。

■ 今回の会議は、HIV/AIDSをめぐるこうした状況をふまえ、アジア・太平洋地域におけるすべてのコミュニティ間の連携をはかり、エイズの予防・治療・ケアに多くの方が平等に参加できるよう、また、それぞれの成果を共有することを目的に開かれます。

■ 国際会議は、新しい知識や情報だけでなく、自分の国以外の状況を生の声で聞くことのできる貴重な場でもあります。多くの方の参加を期待します。

### <ご意見募集>

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部（5581）までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]

[nobotaka@hiroshima-u.ac.jp](mailto:nobotaka@hiroshima-u.ac.jp)